

鳥栖小学校区 コミュニティ 通信

鳥栖小学校区にお住まいの皆様におかれましては、日頃より鳥栖小学校の教育にご理解・ご協力を賜り、ありがとうございます。

節分も終わり、暦の上では春になりました。中庭の梅の花もきれいにさいています。3学期は、中庭でジャンプ台を使ってなわとびをしたり、クラスマッチに向けて長縄の練習をしたりする子供たちの姿がよく見られます。マスク着用・手洗い・消毒を今後も徹底し、元気に今年度を締めくくりたいと考えております。



さて、今年度は、鳥栖中学校区 3校がコミュニティ・スクールをスタートしました。鳥栖小学校区は、学校運営協議会において、じっくりと話し合い、地域の願いや思いを大切に、【元気なあいさつが響く町へ、のぼり旗プロジェクト】【子供と地域をつなぐ、写真プロジェクト】に取り組んできました。

2月3日に第3回の学校運営協議会を開きましたので、その中で出された意見や感想を紹介します。

- ・子供たちは常にマスクを着けているので、昨年と比べると明るさや表情が分かりにくくなっている。
- ・子供の中には、大きな声でなくても、あいさつをしている子がいるし、頭を下げている子もいる。こちら側がその子の気持ちを見逃さないようにしたい。
- ・コロナの影響は大きい。特にこの寒い時期は更にあいさつの声下がっている。
- ・あいさつは地域の人への感謝の気持ちでもある。登校班の先頭の子がよくしてくれる班もあるし、低学年や中学年がよくしてくれる班もある。
ただ、する方にひっぱられてみんながする傾向にはならず、しない方に引っぱられて班全体のあいさつが小さくなることの方が多いようだ。
- ・あいさつは、特に大きな声でなくても、相手に伝わるように言うことが大切。あいさつ運動の成果を児童にアンケートをとったらどうだろう？
- ・(アンケートをとると) 自分自身を客観的に見ることができる。子ども自身はやっていると思っている子が多い。
- ・写真プロジェクトとのぼり旗増は、少しずつ継続したい。

☆2つのプロジェクトのことだけでなく、学校評価についての意見交換や、校長による来年度の学校経営方針の説明も行いました。地域の願いや思いを吸い上げ、活動に結びつけるだけでなく、学校運営に深く関わっています。

これからも「開かれた学校」を目指していきます。今後ともよろしく願いいたします。

※鳥栖小学校 学校 HP「コミュニティ・スクール」の部屋に第1号から掲載しています。

こちらもお覧になってください。

<https://www.education.saga.jp/hp/tosu-e/>